

大会原稿執筆見本

THE WRITING SAMPLE FOR THE CONFERENCE

電子太郎¹
Tarou Denshi

情報二郎²
Jiro Jouhou

Saburou Tushin³

(社) 電子情報通信学会 集会事業部 A¹
Conference Department, The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers A
(社) 電子情報通信学会 集会事業部 B²
Conference Department, The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers B
Stanford University, Department of Information Science³

1 まえがき

原稿用紙は A4 判白紙に原稿執筆見本に示す体裁に従って内容の記載・図表の添付を行います。従来の専用原稿用紙は使用する必要はありません。

講演論文集は、著者の原稿をそのまま原版とし、B5 判（約 86 % に縮尺）により出版致します。「原稿」が不適当であると印刷に支障を来します。この説明書をよくお読みになった上で原稿をお書き下さい

表 1 文字数の目安

一般講演 (A)	シンポジウム講演 (B)
1 枚 / 1 件	2 枚 / 1 件
44 字 × 43 行 = 1892 字	44 字 × 43 行 = 1892 字 (1 枚目) 44 字 × 52 行 = 2288 字 (2 枚目)

2 今回の相違点

(1) Web による講演申込

講演申込受付期間内に、本会ホームページの投稿のページに開設する「大会講演参加申込方法」から登録して下さい。

正しく登録が受け付けられますと、「受付番号」・「登録済内容にアクセスするためのパスワード」などが登録受理票で表示されますので、申込者で必ずプリントアウトして保管し、論文の提出する際に原稿の左上にホチキス止で添付して下さい。

また、登録完了時点で入力項目の確認のために「受付回答メール」が申込者に送付されます。（必ず、内容の確認を行って下さい。）

講演申込受付期間内は受付番号とパスワードにより登録データの修正・取消が可能です。これに伴い、従来の専用講演申込書は不要となります。

3 原稿作成要領

※従来との相違点：学会所定の原稿用紙はありません。

(1) A 4 判白紙に、原稿執筆見本に示す体裁に従って内容の記載・図表の添付を行います。

注意:提出された原稿は本会の「著作権」に関する事項が適用されます。ご了解の上、原稿を作成下さい

(2) 講演原稿 () は原寸で作成します。講演論文集には B 5 判に縮小し、そのまま掲載されます。

(3) 上下左右のマージンおよび講演番号スペースを確保します。マージンは上マージン 30mm、左マージン 18mm、カラム間マージン 7mm、右マージン 18mm、

下マージン 27mm を目安としてレイアウトに留意して下さい。

(4) カラー写真は白黒になります。

(5) 使用言語 日本語または英語。

(6) 配置。

① 表題、著者名、勤務先は原稿執筆見本に従い、記入して下さい。

英文の場合は、表題のみ英文で記入して下さい。

② 本文は 1 段または 2 段に書いても差支えありません。

(7) 文字の大きさ。

表題、著者名、勤務先、本文の文字の大きさは、下記を大体の目安として下さい。
表題 16 ポイント = 5mm

著者名・勤務先・本文 10.5 ポイント = 3 mm

注意：原稿は 86 % 縮小（B5 判）されますので文字の大きさを厳守して下さい。

(8) 原稿には「登録受理票」のハードコピーを上重ねて左上をホチキス止めし、折らずに封筒に入れ、学会事務局へご提出下さい。

(9) 提出期限は大会ホームページを確認してください。

(10) 提出後の差し替えはできません。

(11) 原稿提出先

〒 105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
(社) 電子情報通信学会 集会事業部大会係
TEL: 03-3433-6691, FAX: 03-3433-6659

図 1 大会講演申込流れ図